

第3章 誘客マーケットと資源テーマ

(1)大田区観光の誘客マーケットの考え方

大田区の誘致圏域は遠方の広域圏からの観光者のみならず、大田区民及び大田区を日常圏として通勤・通学をする人たちや週末に訪ししやすい近隣の他区民や市民も視野に入れた身近な顧客をもターゲットとする都市型観光を進めます。

また、来街者の性別・年齢などによる観光に対する嗜好性の特性を踏まえて、一律に観光客として捉えるのではなく、そのニーズに即した大田観光の楽しみ方を提供することが大切です。

① 居住地域別の観光客層

居住地域別に観光客を分けると「日帰り圏（近距離圏）」「1泊圏（中距離圏）」「遠距離圏」と分ける方法が一般的ですが、大田区のように大都市部にある都市観光地では、『区民および近隣地域（通勤・通学者を含む）』が最大のマーケットとなります。

また、大田区は、東京・関東圏の空の玄関口である羽田空港を擁していることから、日本全国をターゲットとする可能性があるとともに、2010年の羽田空港の再国際化によって東アジアをはじめ世界からの誘客も可能となります。

情報発信や誘客活動にあたっては、大田観光の魅力と誘致力・アピール力との関連性を意識しつつ展開していきます。特に区民をマーケットと考える際には、「居住地の誇りとも言うべき魅力ある資源を十分に知ってもらおう」という意味合いも含めた取組みを、羽田空港利用者をマーケットと考える際には、東京等への来訪の立寄りマーケットとして考えた取組みを展開します。

誘致圏の大きさ



誘致・アピール力の区分

世界レベルのもの (潜在的な魅力)
日本レベルのもの (唯一無二なもの、知名度)
身近で気づいていないもの 周辺地域の人を楽しめるもの

大田区の魅力資源

中小企業の技(技術)
羽田 池上本門寺 蒲田 大森貝塚 ※東海道 多摩川 等
湧水・文士・坂道・漁師町・商店街 都市のオアシス・温泉・銭湯 等



② 同行者タイプ別の観光客と特性

観光客を同行者タイプによって分類し、一般的な志向や行動の特徴は次のようにまとめられます。

《 同行者タイプ 》 《 主なターゲットの特性。【 】は期待できる行動例 》

夫 婦

★ シニア夫婦

- シニアは経験などによる違いが大きいが、志向面では健康志向と知的好奇心志向がある。
- 健康志向の強い近隣地域在住のシニア。【ウォーキングイベントへの参加、ジョギング、サイクリングなど】
- 日帰り圏から来訪する知的好奇心の旺盛なシニア。【ものづくり見学、大田市場見学、馬込文士村散策など】

★ DINKS

- 夫婦とも仕事をしていて、子どもがいない若い夫婦。行動様式はカップルに近いが、消費単価は高い。【羽田空港でのディナーと夜景、多摩川アートラインや春宵の響などのイベントへの参加など】

ファミリー

★ 子連れファミリー

- いわゆる家族連れ。小学生以下の子どもがいるファミリーがくつろげる公園や子どもに体験させることを目的とした体験プログラムへの参加。【ふるさとの浜辺公園や多摩川台公園などの利用、体験プログラムやフェスタ系イベントへの参加】

★ 母と成人の娘

- 親子で趣味が合うためか、趣味的な観光行動をとることが多い。【馬込文士村・龍子記念館・池上本門寺などの訪問、著名ではないがオシャレなレストランの食べ歩き、手芸用品・ガーデニング用品などの専門店でのショッピング、花・紅葉などの四季の風景めぐりなど】

友人/ 女性

★ 中高年女性のグループ

- 女性が仕事や習い事、市民活動などで外に出る機会が増え、それらの仲間との女性グループでのレジャー活動が増えている。【母娘マーケットの行動に類似】

★ 20～30代女性のグループ

- 情報収集力、行動力があり、話題性のある事柄に対して活動的である。【蒲田B級グルメ、羽田空港の夜景とディナーなど】

友人/ 男性

★ 中高年男性のグループ

- リタイア後の男性は時間消費型のレジャー行動が多く、グループでの活動も増える。【テーマ（地域の歴史探訪、モノづくり体験、創作活動など）を決めた時間消費型活動】

友人/
男女グループ

★ コミュニティや職場の仲間、学校時代の同級生仲間

- 懇親が目的であり、長時間（フルデイ）の活動よりも短時間（3～4 時間）の活動が多い。【集まりやすい繁華街での飲食など】

★ 大学生

- ゼミ・クラブなどの仲間が集まる。飲食を伴う懇親会が多い。【割安感がある B 級グルメの飲食店など】

ひとり

★ マニア・ニッチ

- 特定の趣味を持つマニアであり、関心領域にあるイベント等には遠方からでも参加する。【鉄道マニア、天文マニア、コミックマーケット、コスプレイベントなど】

★ 「おひとりさま」

- キャリアがあり、自己を確立している 30～40 代の独身女性で、行動力もあるマーケット。単独での行動を躊躇しないところから、このように呼ばれる。【活気があり、変わった雰囲気を持つ商店街の散策、歴史散歩など】

カップル

★ カップル

- ロマンチックな雰囲気がある場所を選ぶ。【羽田空港の夜景とディナーなど】

《その他の特定マーケット》

小・中学生

★ 近隣の小学生

- 社会学習として地域の経済・歴史・文化を学ぶ。【ものづくり見学、各種資料館など】

★ 中・高校生の修学旅行

- 居住地では経験できない他地域の経済・歴史・文化を学ぶ。【ものづくり見学、海苔づくり体験、大田市場見学、エコパークのリサイクル工場群見学】

外国人

★ 訪日外国人

- 訪日外国人は、FIT（個人観光性）旅行者、ビジネス旅行者、団体観光性旅行者に分けて考える必要がある。また、東京来訪客とトランジット（乗継）客に分ける必要がある。
- 東京を訪問するFIT客は、限られた日数の中で、東京を基点として優れた観光箇所を選定するので、東京の他の場所では経験できないことを提供する。【海苔づくり、江戸切子グラスづくりなど】
- 業務性旅行者は自由時間が少ないこと、ビジネスの相手が日本居住者であることが多いことから、仕事上の関係での見学が多くなる。【B to Bでのものづくり見学】
- トランジット客には、羽田空港を基点とした短時間で日本の珍しいことを経験できるオプションを提供する。【大田市場見学、海苔づくり体験、江戸切子グラスづくりなど】
- 団体観光客の観光訪問先は、ツアーを企画する旅行会社が選定するので、旅行会社が好む仕掛け（団体での行動がしやすい、ツアー費に影響しない料金体系など）が提供できる上、参加者が喜ぶ箇所を選ぶ。【大田市場など】

★ 在留外国人

- 在留外国人は日本滞在が長く、観光での来訪客が体験できないような観光対象を求めている。特に、日本の文化や風習に慣れていないと楽しめないようなこと、季節的な行・催事などが好まれる。【海苔の記念館、大田市場、とんび凧揚げ、七草子ども流鏝馬など】

(2)テーマ性による大田区観光資源の編集

I. テーマ性をもとに観光資源を編集する意味

資源側からの発想での一般的な区分（歴史資源、人文資源、自然資源など）では来訪しようとする人にとって馴染みにくいことから、来訪者の気を惹くためにも「来訪者の目線（視点）」で資源の編集を行う必要があります。既存の大田区の観光資源をもとに大田区の特徴を示すテーマを設定し、テーマに沿って各資源を見直すことにより、地域の中にある様々な魅力を束ねてアピールすることが可能となります。資源が該当するテーマは「1対1の関係」ではなく、複数のテーマに該当する資源もある。複数のテーマに該当する資源は、他の資源との組み合わせ方により様々な魅力を放つものとなります。

《大田区の観光資源の魅力を再編集するためのテーマ》

テーマ1：歴史史実・ゆかりの人物

テーマ2：地域の記憶

テーマ3：名所・風景

テーマ4：都市のオアシス

テーマ5：暮らし・賑わい

テーマ6：産業資源・匠

〈各資源の現状のアピール力・誘致力〉

区民を対象に実施したアンケート調査の「認知度」と「来訪経験」項目の結果をもとにして、各資源の「現状のアピール力・誘致力」の評価を行った。

《「現状のアピール力・誘致力」の評価基準》

●「A:誘致力が高い観光資源」

…多くの人を知っており、多くの人実際に訪れる。

●「B:何か問題を抱えている観光資源」

…多くの人知っているが、何らかの問題を抱えているため訪れる人は少ない。

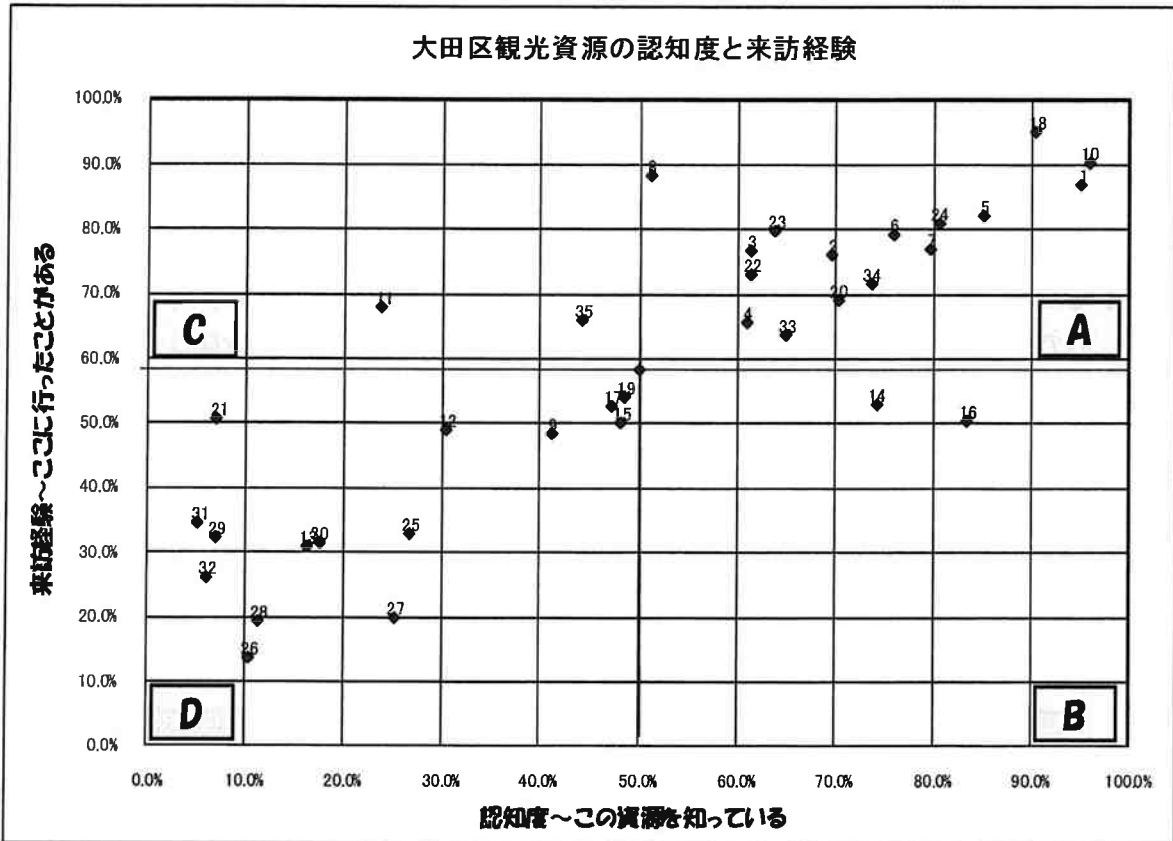
●「C:知る人ぞ知る観光資源」

…知っている人は少ない。しかし、知っている人の大半が実際に訪れる。

●「D:現在では観光の対象になっていない資源」

…知る人も少なく、知っている人も実際には訪れない。観光資源といえる状況ではない。

大田区観光資源の認知度と来訪経験



NO	大田区の資源	NO	大田区の資源
1	池上本門寺	19	黒湯温泉
2	池上梅園	20	銭湯
3	城南島海浜公園/京浜島つばさ公園	21	多摩川アートラインプロジェクト
4	東京港野鳥公園	22	さくら坂
5	洗足池公園	23	田園調布のまちなみ
6	タイヤやSLのある公園	24	羽田空港展望デッキ
7	平和島公園	25	羽田沖での潮干狩り
8	多摩川台公園	26	江戸切子グラス作り
9	渡し跡(丸子、矢口、六郷、羽田)	27	海苔づくり体験
10	多摩川	28	ものづくり見学
11	新田神社	29	七草子ども流鏝馬
12	大森ふるさとの浜公園/海苔のふるさと館	30	とんび凧あげ
13	昭和のくらし博物館	31	春宵の響
14	大森貝塚	32	水止舞
15	馬込文士村	33	花火の祭典
16	大田市場	34	池上本門寺お会式
17	松竹蒲田キネマ跡	35	OTAふれあいフェスタ
18	蒲田駅周辺繁華街		

※「大田の食」に関する資源については区民を対象としたアンケート調査には提示していないが、『大田区の観光に関する基本調査』における観光資源抽出の際に資源として重要であると考え、資源の抽出を行ったことからテーマ性による資源の再編集においても同様に扱うこととする。したがって、各資源の現状のアピール力・誘致力の評価は行っていない。

テーマ 歴史史実とゆかりの人物

1

《テーマの持つ意味合い》

- 地域の歴史はそのままでも当該地域の個性になり得るものである。来訪者にとって、その地域の歴史に触れることは地域の魅力を知る上では基本的部分であり、素地となるものである。また地域に住む人にとっては、地域の歴史を改めて知ることにより、自らの地域へのより深い愛着や誇りを醸成することに繋がる。
- 地域のゆかりの人物とその人物に縁のあるスポットは、その人物を知る人にとっては素材そのものでも興味ある資源となりうるが、当該素材にその人物の逸話や物語などを付加することにより魅力ある資源として来訪者を楽しませることも可能になる。

《資源抽出の視点》

- ◆大田区の歴史を示すもの・スポット
- ◆大田区にゆかりのある人物に縁のあるスポット

【区民を対象としたアンケート調査に提示した観光資源】

資源名	概要	現状の アピール力・ 誘致力
池上本門寺	1282年日蓮聖人が病氣療養のため身延山から常陸に向かう途中、病が重くなり足を留め、池上宗仲公寄進の山上のお堂を「長栄山本門寺」と命名し開堂。御入滅された10月13日の命日に毎年お会式が行われる。また春には境内の桜が見ごろになる。	A
新田神社	新田義興(頼貞の次子)が、畠山国清等の奸計により、矢口の渡に於いて憤死したあと、夜な夜な「光り物」が現れ、往来の人を悩ませたので、村老等が墳墓を築き、新田大明神として奉斎したのが始まり。本殿は、明治神宮旧本殿をそのまま移築復元したものである。新田神君之碑は区指定文化財。	C
馬込文士村	大正末期から昭和初期、東京の馬込から山王にかけての一带に多くの文士、芸術家が住んでおり、この辺りを「馬込文士村」と呼ぶようになった。文士たちの住んでいた場所にはモニュメントが置かれ、彼らの足跡を訪ねることができる。	D
大森貝塚碑	明治 明治10年(1877年)、アメリカの動物学者E・S・モースによって発見、発掘された日本考古学上最初の遺跡で、縄文時代後期(約3000年前)の遺物が出土し、国の史跡に指定されている。その発掘記念碑が、大田、品川の両区にそれぞれ建てられている。	B
洗足池公園	池のある公園としては区内でも屈指の広さ。春には桜を、秋には紅葉を満喫することができる。	A
桜坂	坂名は坂道の両側に大正時代に植えられた桜にちなむもの。この坂は旧中原街道の切通しで、昔は「沼部の大坂」といい、勾配がきつく荷車などの通行は大変であったようである。また、かつてこのあたりの村落(沼部の村落)は荷車、旅商人の往来でにぎわい、農掛け茶屋などが坂道の両側にあったともいわれている。坂下には、かつて六郷用水が流れていたが、下水道の普及につれてこの用水も埋められ、少しでも昔の姿を残そうとその一部を自然の湧水を使って「六郷用水の跡」として保存している。	A
多摩川台公園	多摩川に沿って伸びる丘陵地にある約750メートルの公園。面積は66,661平方メートルと広大なうえ、自然林の道、古墳、展望台、水生植物園、四季の野草園、あじさい園、山野草のみち、ふたつの広場など見所は豊富。	A



■池上本門寺



■丸子の渡し跡

《テーマの持つ意味合い》

- 地域の歴史を背景にして人々の暮らしの中で大切に育まれて継承されてきた文化は、その地域ならではの生活スタイルや産業を示すものである。これらは地域の個性として他の地域との差別化を図ることができる大きな魅力であり、人々の心を惹きつけるものである。
- 地域に残る伝統的なお祭りやイベントなどの風物誌は、その地域の履歴を物語るものであり、地域の生活の風景を感じることでできるものである。また、他地域から訪れる人にとっては地域の人々と触れ合う機会となり得る。

《資源抽出の視点》

◆地域の古えの暮らし・産業を連想させるもの・スポット

【区民を対象としたアンケート調査に提示した観光資源】

資源名	概要	現状の アピール力・ 誘致力
昭和のくらし博物館	戦後の庶民のくらしを語り伝えている生活資料を残すために、昭和の庶民資料としていつの間にか入手困難となった日用品を保存しながら展示している。1999年2月28日に開館し、2002年に国の登録有形文化財(建造物)となった。	D
海苔のふるさと館	大田区での海苔養殖の歴史や国の重要文化財に指定されている海苔の生産用具などを展示している。	D
松竹キネマ蒲田撮影所跡	大正9年(1920年)から、大船に移転する昭和11年(1936年)まで、蒲田の地で夢を作り続けた松竹キネマ蒲田撮影所の跡。当時の蒲田周辺には俳優も多く住み、「流行は蒲田から」と言われるほどの華やかさと活気にあふれていた。現在は跡地に区民ホール「アプリコ」が建っている。	D
池上本門寺・お会式	日蓮宗を開いた日蓮聖人の命日法要をお会式とよび、全国の日蓮宗の寺院で10月～11月にかけて行われる。池上本門寺は聖人入滅の地であるため遠方からも参詣者が集まる。	A
とんび凧あげ大会	古くから六郷に伝わる郷土玩具「とんび凧」、この凧あげ大会をすぐ近くの多摩川河川敷で毎年1月に開催する。	D
子ども流鏝馬	六郷神社で毎年1月7日午後1時より開始される全国でも珍しい子どもの流鏝馬。小笠原流射手装束の少年が弓矢を射る。的も「八方白眼」という六郷神社独特のものを使用する。昭和38年に東京都民俗無形文化財に指定された。	D
春宵の響	平成7年、洗足池公園に池月橋が完成したのを記念して開始された。人間国宝の寶山左衛門氏をはじめとする和楽器の奏者が、洗足池に幽玄の情景を作りあげる。	D
水止舞	毎年7月14日に厳正寺で行われる。毎年古くから水害に悩まされたことから伝わる、雨を止める祈りの行事。ほら貝を吹く籠神をこらしめ、獅子舞でしずめる。都の無形民俗文化財に指定。	D
羽田の渡し跡	羽田の渡しは、「六左衛門の渡し」とも呼ばれ、昭和14年(1939年)に大師橋が開通するまで利用されていた。	D
矢口の渡し跡	「矢口の渡し」の位置は、多摩川の流れの変化に従って変わっている。昭和24年(1949年)に多摩川大橋が完成するまで、この付近が区内で最後の渡船場として、利用されていた。区指定文化財。	D
六郷の渡し跡	東海道における江戸の玄関口として、重要な渡し場であった。中世末から近世初頭にかけて何度も橋が架けられたが、貞享5年(1688年)の多摩川の洪水で流出して以来、明治になるまで渡し船が利用されてきた。渡し跡の標識板は、渡し跡から少し離れた北野神社にある。区指定文化財。	D
丸子の渡し跡	昭和9年(1934年)に中原街道が改修され、上流に丸子橋ができるまで、長い間利用されていた。江戸時代初期には参勤交代の道路として利用され、また養蚕産のタバコや大山の薪炭などの搬入路として賑わっていた。	D
馬込文士村	大正末期から昭和初期、東京の馬込から山王にかけての一角に多くの文士、芸術家が住んでおり、この辺りを「馬込文士村」と呼ぶようになった。文士たちの住んでいた場所にはモニュメントが置かれ、彼らの足跡を訪ねることができる。	D
桜坂	坂名は坂道の両側に大正時代に植えられた桜にちなむもの。この坂は旧中原街道の切通しで、昔は「沼部の大坂」といい、勾配がきつく荷車などの通行は大変であったようである。また、かつてこのあたりの村落(沼部の村落)は荷車、旅商人の往来でにぎわい、腰掛け茶屋などが坂道の両側にあったともいわれている。坂下には、かつて六郷用水が流れていたが、下水道の普及につれてこの用水も埋められ、少しでも昔の姿を残そうとその一部を自然の湧水を使って「六郷用水の跡」として保存している。	A
多摩川	田園調布から羽田までの約11km、大田区に沿って流れている。河川敷には野球場やテニス場があり、さらに丸子橋から下流の弁天橋まで、全長約11kmに及ぶサイクリングコースも整備されている。また沿川には多摩川台公園をはじめとする緑地や4ヶ所の渡し跡もある。	A
羽田沖の潮干狩り	羽田空港の第1ターミナル沖のちようど飛行機が着陸するラインの真下という羽田ならではの潮干狩り。大森ふるさとの浜辺公園を出発し、羽田沖まで釣り船で行き、小さなボートに乗り換えて、干潮時にできた干潟で天然のアサリが取れる。ボートを使わないと行けないというのも、魅力の一つ。	D
海苔つけ体験	大田区立郷土博物館、海苔のふるさと館で実際に海苔作りに携わっていた地元の人が講師として指導する。大田区立郷土博物館では昭和54年から開催されている。	D
江戸切子グラス作り	「江戸切子」はガラスの表面に「グラインダー」と呼ばれる円盤状の機材で模様を刻む技法の呼称。西欧から江戸後期に伝わり、現在は国の伝統工芸に指定されている。蒲田地区では「蒲田モダン」と呼ばれる独特なデザインが特徴で、全国的にも知名度が高い。東亜硝子工芸は、2005年から製作体験を2カ月に1度開いており、毎回約100人が参加する。	D
羽田のアナゴ(魚介類)	東京湾の羽田沖は、かつて江戸前のアナゴ漁で賑わったところで、現在でも数は少なくなったがあなご漁師が健在している。また、羽田産のあなご寿司や天ぷらを味わえる店もある(【寿し勝本店】【ゆたか】)。	※
海苔	大森は海苔の養殖の発祥の地とも言われ、江戸時代には御膳海苔として上納され、その優れた海苔養殖技術は全国に広められ、日本の海苔の生産と流通の中心的な役割を果たしてきた。昭和37年に東京湾の埋め立てにより海苔漁業権を放棄したが、海苔問屋は今でも健在している。(【守半本店・河合海苔店】)	※

Ⅱ. 大田区の観光に関する基本調査で抽出した大田区の観光資源のテーマ別対応

【池上本門寺～門前町周辺の資源】

資源名	概要	観光資源の体系化に向けたテーマ					
		歴史史実とゆかりの人物	地域の記憶	名所・風景	都市のアシス	暮らし・賑わい	産業資源・匠
池上本門寺	1282年日蓮聖人が病氣療養のため身籠山から常陸に向かう途中、病が重くなり足を留め、池上宗仲公寄進の山上のお堂を「長栄山本門寺」と命名し開堂、伽藍を築かれた10月13日の命日に毎年お盆式が行われる。また寺には境内の桜が見ごろになる。	●		●	●		
池上本門寺・加藤清正室層塔	加藤清正夫人(正応院)の逆修供養塔で、寛永三年(1626年)に建立。もとは十一層あったと思われ、江戸初期の特色を示す。	●					
池上本門寺・前田利家室層塔	前田利家夫人であり、加賀藩三代藩主利常の母である壽福院の逆修供養塔で、元和八年(1622年)に建立。もとは十一層でしたが、今は五層を数えるのみ。区指定文化財。	●					
池上本門寺・梵鐘	瑞林院が正徳4年(1647年)に寄進した梵鐘を、正徳4年(1714年)紀州粉川の諸物師木村将監藤原安成が改鑄したもの。改鑄後も当初の銘文が残る江戸期の代表的形態を示す。	●					
池上本門寺・日樹聖人五輪塔	日樹の信者たちによって、寛永7年(1630年)以前に建てられた。本門寺山内で、最大五輪塔。塔の全面に数百名の名が刻まれ、日樹と本門寺を信奉する人たちが全国各地に及んでいたことがわかる。区指定文化財。	●		●			
池上本門寺・経蔵	一切経が収められていた。天明4年(1784年)に建てられたもので、経蔵内部の柱等には、江戸時代後期に江戸各地から参詣した人々の氏名や、経蔵の工事に関与した職人等の氏名が刻まれており、その信仰が広範に及んだことがわかる。区指定文化財。	●					
狩野探幽の墓	狩野探幽(1602年～1674年)は、狩野孝信の長男で、日本絵画史上最大といわれる狩野派の「中興の祖」といわれる。区指定文化財。	●					
池上本門寺・狩野孝信墓所	狩野孝信(1671年～1618年)は、永徳の次男で、探幽や尚徳の父。墓石は宝篋印塔の形をしており、元和四年(1618年)に建てられた。この一画は狩野派の墓所で、尚徳の墓もある。区指定文化財。	●					
本門寺公園	池上本門寺のそばにあり、平成8年(1996年)に新しくなったデイキャンプ場や、運動会などに利用できるグラウンドなどがある。			●	●	●	
池上本門寺お会式	日蓮宗を開いた日蓮聖人の命日法要をお会式とよび、全国の日蓮宗の寺院で10月～11月にかけて行われる。池上本門寺は聖人入滅の地であるため道方からも参詣者が集まる。		●			●	
池上本門寺の「朝市」	本門寺階下で毎月第3日曜日7時30分～11時まで開催される。					●	
力道山の墓	大相撲からプロレスに転向し、日本プロレスの礎を築いた力道山の墓が境内にある。	●	●				
池上会館	集会所や展示ホールは建設したが、屋上は終日開放された屋上庭園となっている。高度はそれほど高くないが、天気がよければランドマークタワーまで見渡せる。南側は住宅街の夜景、北側は池上本門寺のライトアップと都内に居ながら京都や鎌倉の雰囲気を感じられる。			●		●	
此経難持坂	池上本門寺の裏参道九十六段の石段坂。石段は、慶長年間に加藤清正が寄進したものと伝えられている。『法華経』宝塔品の偈文九十六文字にちなんで石段を九十六段とし、偈文の文脈の文字をとって坂名としたもの。	●					
本門寺あんぱん	「池上本門寺」に許可をもらって名づけられた「プチドルフィン」のあんぱん。				●	●	
くず餅	1752年創業の「浅野屋本舗」はくず餅の元祖として知られる。初代店主が本門寺参拝みやげとして売り出したのが始まり。				●	●	●
精進アイス	本門寺敷地内にある「お山の店たちばな」で販売されている、大豆ペースで作られ季節によって限定の味も販売される。				●	●	●
賢沢あんみつ	「甘味あらい」の店主が吟味した素材を利用した全て手づくりのあんみつ。				●	●	●

【大田区内の花の見所】

資源名	概要	観光資源の体系化に向けたテーマ					
		歴史史実とゆかりの人物	地域の記憶	名所・風景	都市のアシス	暮らし・賑わい	産業資源・匠
池上梅園	丘陵斜面等を利用した閑静な庭園。都内屈指の梅の名所。			●	●		
聖跡梅屋敷公園	江戸時代に富豪の屋敷が作ったという由緒のある公園。			●	●		
宝来公園	大正14年に田園都市の開発にあたり、公園として運営。戦後の昭和25年に管理が都から区に移され、区立の公園としては最も古い公園。			●	●		
蘇峰公園	徳富蘇峰の旧宅跡(山王草堂)を公園にしたもの。庭園は植え込み、梅林、流れと池などで構成され、落ち着いた雰囲気。園内にはイチヨウ、マツ、クスギ、ウメ、カタルバ、アジサイなどの樹木や花が見られる。	●		●	●		
本門寺公園周辺	区内で最も多くの桜の木がある。			●	●	●	
洗足池公園	約250本の桜が広々とした洗足池の水面に映る。			●	●		
多摩川台公園	約300本の桜の木が公園の広場を中心に広がっている。また園内のアジサイ園では5月下旬から6月上旬にアジサイが美しく咲く。	●		●	●	●	
平和の森公園	公園の中心にある見晴らし広場に桜の木が約80本植えられている。			●	●	●	
ガス橋緑地付近	多摩川の土手沿いに約150本の桜が並んでおり、散歩しながら楽しむことができる。			●			
東糞谷第一公園	広場を囲むように約150本の桜の木が植えられている。			●	●		
田園調布イチヨウ並木	田園調布駅西口の前の小さな池の前に立つと、放射状の街路を見ることができる。この街路の両側には銀杏の大樹が街路樹として植えられ、各家の花壇・生け垣と調和して、訪れる者にとって美しい散策地となっている。			●	●	●	

【大田区内の夜景スポット】

資源名	概要	観光資源の体系化に向けたテーマ					
		歴史史実とゆかりの人物	地域の記憶	名所・風景	都市のオアシス	暮らし・賑わい	産業資源・匠
京浜島つばさ公園	羽田空港に面した公園で目の前に空港が広がる。空港の夜景を楽しむことができる。(東京都立公園)			●	●		
城南島海浜公園	区内東端に位置し、三方を海に囲まれており、東京湾を行き交う船や羽田空港を離陸する飛行機が見れる。展望広場からはレインボーブリッジやお台場が望め、東京タワーまで見渡せる夜景が楽しめる。(東京都立公園)			●	●		
屋形船	特設デッキからは東京湾のパノラマ夜景を眺めることができる。			●	●		
羽田空港第2旅客ターミナル展望デッキ	ターミナルの5階に位置する展望デッキから、都心の夜景をバックに、美しくライトアップされた機体を見ることができる。			●	●		
池上会館	宴会所や展示ホールの施設だが、屋上が終日開放された屋上庭園となっている。高度はそれほど高くないが、天気がよければランドマークタワーまで見渡せる。南側は住宅街の夜景、北側は池上本門寺のライトアップと都内に居ながら京都や鎌倉の雰囲気を感じられる。			●	●	●	

【大田区内水辺の公園】

資源名	概要	観光資源の体系化に向けたテーマ					
		歴史史実とゆかりの人物	地域の記憶	名所・風景	都市のオアシス	暮らし・賑わい	産業資源・匠
東京港野鳥公園	1960年代に埋め立てた場所に1978年に公園として整備。一年を通じてバードウォッチングが楽しめる。自然に親しみ、自然に学ぶ行事も行われている。(東京都立公園)			●	●		
多摩川台公園	多摩川に沿って伸びる丘陵地にある約750メートルの公園。面積は66,661平方メートルと広大なうえ、自然林の道、古墳、展望台、水生植物園、四季の野草園、あじさい園、山野草のみち、ふたつの広場など見所は豊富。	●		●	●		
平和島公園	季節にあわせ美しいメロディーを奏でる西洋の鐘「カリヨン」やキャンプ場・ナイターもできる野球場・プールなどがある公園。			●	●		
大森ふるさとの浜辺公園	入江や干潟を持つ部内では初めての区立海浜公園。建設にあたっては数多くの区民参加によるワークショップや報告会などを積み重ねた。かつての大森海岸を再現した浜辺で遊びを楽しんだり、桜やツツジに彩られた園内を散策することができる。		●	●	●	●	
森ヶ崎公園	森ヶ崎水再生センターの屋上に設置されている公園で、多くの樹木が植えられ、季節ごとに咲く草花を楽しむことができる。公園には遊具や砂場、運動施設が設置されている。公園の南東の角には展望台が設置され、羽田空港や川崎方面を望むことができる。			●	●		
平和の森公園	環状7号線をはさんで南北に広がる区内最大の公園。芝生やアスレチックがあり休日には家族でにぎわう。			●	●	●	

【大田区内の特徴ある公園】

資源名	概要	観光資源の体系化に向けたテーマ					
		歴史史実とゆかりの人物	地域の記憶	名所・風景	都市のオアシス	暮らし・賑わい	産業資源・匠
西六郷公園(タイヤ公園)	西六郷公園の特色は異色のタイヤ公園の名前が示すとおりタイヤが主役。大小さまざまな大きさの3,000本の古タイヤが、ゴジラやロボットなどに姿を変えている。			●	●	●	
荻中公園	狭小公園内の、現役を引退した船や車を置いてあるコーナー、トラック、ジープ、消防車、ブルドーザーやイギリス製の四輪駆動ランダー蒸気機関車(形式番号B-3)と炭水車が置いてある。			●	●	●	
大森ふるさとの浜辺公園	入江や干潟を持つ部内では初めての区立海浜公園。建設にあたっては数多くの区民参加によるワークショップや報告会などを積み重ねた。かつての大森海岸を再現した浜辺で遊びを楽しんだり、桜やツツジに彩られた園内を散策することができる。		●	●	●	●	
鶴の木松山公園	この地域では古墳時代(6世紀末)から奈良時代(8世紀前半)にかけて作られた横穴墓群が数多く発見されている。公園内には、その中の1つが発見時のままの形で保存展示されている。透明な樹脂で外周とは仕切られていて中には入れないが、横穴墓の中はライトで照らされていて良く見ることが出来る。又、横穴墓入り口には説明パネルもあって詳しく解説されている。	●	●		●		
下丸子公園	多摩川の旧跡の「矢口の渡し」を景観として再現しているのが特徴。船の横に水の吹き出し口が併に平行にセットされていて、あたかも舟が水面を進んでいるかのような演出も凝っている。公園は緑豊かな庭園と広場そしてテニスコートなどで構成されている。		●		●	●	
入新井西児童交通公園	蒸気機関車の展示があり、動輪は一日1-2回汽笛を鳴らしながら動く。他に、消防車や、新田2台が展示されている。旧のほうはボンネットトラック型の古いもので、たいがいは壊れている。			●	●	●	
東調布公園	園内には流れる川、野球場、プール、児童交通公園などがある。野球場、プールにはナイター設備もある。			●	●	●	

【大田区の暮らし・産業を紹介する博物館・資料館】

資源名	概要	観光資源の体系化に向けたテーマ					
		歴史史実とゆかりの人物	地域の記憶	名所・風景	都市のオアシス	暮らし・賑わい	産業資源・匠
昭和の暮らし博物館	戦後の庶民の暮らしを語り伝えている生活資料を残すために、昭和の庶民資料としての間にか入手困難となった日用品を保存しながら展示している。1989年2月28日に開館し、2002年に国の登録有形文化財(建造物)となった。		●			●	
大田区郷土博物館	大森貝塚をはじめとする考古資料、海苔養殖関係資料などが展示されている。毎年春と秋に2回の特別展と1回の企画展を開催。	●	●			●	
多摩川台公園 古墳展示室	ほぼ四世紀から七世紀にかけて作られた古墳という巨大な墓が突如大のレプリカで再現されている。これは、東園(関東地方)で古墳時代に造られた横穴式石室をもつ前方後円墳の後円部の一部。	●	●				
海苔のふるさと館	大田区での海苔養殖の歴史や園の重要文化財に指定されている海苔の生産用具などを展示している。		●				●

【洗足池周辺資源】

資源名	概要	観光資源の体系化に向けたテーマ					
		歴史史実と ゆかりの人物	地域の記憶	名所・風景	都市のオアシス	暮らし・賑わい	産業資源・匠
洗足池公園	池のある公園としては区内でも屈指の広さ。春には桜を、秋には紅葉を満喫することができる。	●		●	●		
春宵の響	平成7年、洗足池公園に池月橋が完成したのを記念して開始された。人間国宝の眞山左衛門氏をはじめとする和楽器の奏者が、洗足池に幽玄の情景を作りあげる。		●	●	●		
灯笼流し	妙福寺で毎年7月16日に開催される。約600個の幻想的な灯笼が水面を照らす。		●	●			
日蓮聖人の袈裟掛松	日蓮聖人が身延山から常陸国へ向かう途中に立ち寄り、手足を洗うために袈裟を掛けたことからこう呼ばれる。	●	●	●			
御松庵	日蓮聖人の道中を守った七面天女を安置し袈裟掛松を祀るお堂がその始まり。	●					
洗足軒の案内板	勝海舟が晩年に池畔に別邸を建てたが昭和30年代に焼失した。案内板が当時を伝えている。		●				
勝海舟夫妻の墓	勝海舟(1823年～1899年)は、官軍のおかれた池上本門寺に赴く途中、洗足池畔に墮い、風景にうたれ、その地でここに別荘を構えた。後に海舟の遺言で、屋敷裏の台地に葬られたと伝えられている。区指定文化財。	●		●			
池月像	源頼朝の愛馬・池月の像。洗足池で頼朝の家来に捕らえられた。	●					
西郷隆盛留魂碑	明治12年(1879年)、暴死した西郷隆盛をいたみ、勝海舟が私費で建てた碑。大正2年(1913年)に現在地に移設された。	●					
中原街道改修碑	中原街道の沼部、石川、千束付近は、急坂が多く物資の輸送や交通の難所であった。この石碑は、大正6年から12年にかけて改修工事が行われたことを伝えている。	●	●				

【大田区の記憶を示す資源】

資源名	概要	観光資源の体系化に向けたテーマ					
		歴史史実と ゆかりの人物	地域の記憶	名所・風景	都市のオアシス	暮らし・賑わい	産業資源・匠
羽田の渡し	羽田の渡しは、「六左衛門の渡し」とも呼ばれ、昭和14年(1939年)に大師橋が開通するまで利用されていた。		●	●			
矢口の渡し跡	「矢口の渡し」の位置は、多摩川の流れの变化に従って変わっている。昭和24年(1949年)に多摩川大橋が完成するまで、この付近が区内で最後の渡船場として、利用されていた。区指定文化財。		●	●			
六郷の渡しと六郷橋	東海道における江戸の玄関口として、重要な渡し場であった。中世末から近世初頭にかけて何度も橋が架けられたが、貞享5年(1688年)の多摩川の洪水で流出して以来、明治になるまで渡し船が利用されてきた。渡し跡の標識板は、渡し跡から少し離れた北野神社にある。区指定文化財。		●	●			
丸子の渡し跡・丸子橋	昭和9年(1934年)に中原街道が改修され、上流に丸子橋ができるまで、長い間利用されていた。江戸時代初期には参勤交代の道路として利用され、また秦野産のタバコや大山の新巻などの搬入路として使われていた。		●	●			
大森貝塚碑	明治明治10年(1877年)、アメリカの動物学者E・S・モースによって発見、発掘された日本考古学上最初の遺跡で、縄文時代後期(約3000年前)の遺物が出土し、国の史跡に指定されている。その発掘記念碑が、大田、品川の両区にそれぞれ建てられている。	●	●	●			
松竹キネマ 蒲田撮影所跡	大正9年(1920年)から、大船に移転する昭和11年(1936年)まで、蒲田の地で夢を作り続けた松竹キネマ蒲田撮影所の跡。当時の蒲田周辺には俳優も多く住み、「流行は蒲田から」と言われるほどの賑やかさと活気にあふれていた。現在は跡地に区民ホール「アブリコ」が建っている。		●				



■東京港野鳥公園



■大森貝塚跡



■田園調布イチョウ並木



■洗足池公園



■多摩川台公園古墳展示室



【写真出所】

- http://www.enjoytokyo.jp/td/i_hiro/117067.html
- <http://tuiterrun-sketch.seesaa.net/article/28836554.html>
- <http://suirenn2.exblog.jp/8606295/>
- <http://www.ne.jp/asahi/ha0/egg/haniwa/tamagawadai/tamagawa.htm>